

ボランティアNEWS

第35号(2010年2月)

ボランティア募集の説明会を行います

みなさんと一緒に活動していただくボランティアさんを新規で募集するにあたり、来る2月21日(日)の10時から12時まで、広島市郷土資料館で説明会を行います。



そこでみなさんにお願いが3つあります。

「ボランティア活動をしてみたい」という人を紹介して下さい。

お友達、ご家族でボランティア活動に興味がある方はいらっしゃいませんか？ よろしかったら説明会に誘っていただけませんか。もちろん、登録を強制はいたしません。まずは説明会に来ていただいて下さい！ 経験は問いません。

事例報告にご協力下さい。

説明会では、参加者のみなさんに、すでに活動しているボランティアさんのお話を聞いていただこうと考えています。ついては！ これまでの活動の事やボランティアに対する熱い思いを語ってみませんか？ 持ち時間は5～10分程度、グループでの参加も可。職員がサポートしますので是非お願いいたします。

交流会を開きます。

説明会の終了後、ボランティアのみなさんで交流会を開こうと思います。事例報告なされない方も大歓迎！ 時間は2時間程度で、

参加費無料。お昼時ですので軽食を準備します。堅苦しい事なしでワイワイとやりましょう。

・ つきましては、事前の準備が必要ですので、2月14日までに広島城・郷土資料館・文化財課の担当者まで御連絡下さい。よろしくお願いいたします。(広島城 本田)

前回の説明会の様子。写真(上)は舩田さん、写真(下の左)は松山さん。各々、ご自分のボランティア活動についてお話をいただきました。

郷土資料館で海苔すき体験

毎年この時期の郷土資料館の体験教室のメニューに海苔すき体験があります(今年は1月23・30日(土)の両日)。海苔の原藻を細かく刻み、タライの水に溶いて簀と簀杵をつかって漉きあげ、天日で乾燥させて乾し海苔を仕上げ、おまけに海苔のたっぷり入った、地元南区大河に伝わる海苔汁(大河鍋)を試食してもらうというものです。人気の教室で、2回の開催とも満員御礼となりました。

なぜ郷土資料館が海苔すきを行なうのか、と疑問に思われる方がいるかもしれませんが、それは、かつて広島湾岸が日本有数の海苔養殖地であったからに他なりません。江戸時代に仁保付近の猿猴川河口の干潟で養殖が始まり、草津や江波にもひろがって、広島県は明治期には東京を抜き、日本一の



黄金山から宇品、似島方向、画面右からかき棚、海苔ヒジが楠那、丹那沖を埋め尽くす。昭和35年ごろ。(撮影:大下隆雄)



現在の状況。養殖場はそっくり自動車工場などとなっている。

生産高を誇ったことさえあります。それが明治期に始まる宇品築港など、広島湾沿岸部の開発により打撃を受け続け、昭和30から50年代、仁保沖埋立てや西部開発事業により、広島市内の海苔養殖はほぼ壊滅してしまいました。同じく太田川の恵みを受け、干潟で発達したかき養殖がこれらの開発が行なわれながらも隆盛を誇っているのに対し、全く対照的です。だいたい50歳代以上の方々ならおそらく子どもの頃の記憶に残っているかもしれませんが、40歳代以下の方は、広島で海苔養殖が行なわれていたことすら全く知らないという人も多いと思います。広島町の成長とともに生まれ、太田川河口の自然条件を生かして発展し、広島近代都市としての発展

とともに終焉を迎えた海苔養殖。広島史を語るうえで、欠くことのできない重みを持っていると思います。この教室を機会に、忘れ去られようとしている広島史の一コマに思いを馳せていただけたらと思っています。

ところで、広島には海苔屋さん、しかも全国的に名の知られたところが多いと思いませんか。これもかつての養殖業の繁栄が背景にあると思います。今度どこかへ旅行に行かれたら、朝食に出た海苔の袋を見てみてください。かなりの確率で広島海苔屋さんに当たるはずですよ。(郷土資料館 大室)

新年度に向けて準備中！！ ～文化財課～

今年度も残すところあと2ヶ月。文化財課では新年度に向けて準備をはじめています。

文化財課では、毎年春から夏にかけて「土器作り」、「ハニワ作り」など粘土を使った古代のモノ作り



の出張授業に数多く出向いています。これまでは、主にテラコッタ粘土を使用してきましたのですが、新年度に向けて「野焼きをしても割れにくい」という新しいタイプの粘土の導入を検討しています。具体的には、2月中に試作品を作り、3月に野焼きをして、粘土の扱い・接合の方法・焼成の方法等について検証する予定です。

試作品作りは、2月9日(火)、10日(水)の2日間、午前9時30分～12時で行ないます。(4ページにもお知らせが載っています。)参加してくださるボランティアさんを募集しますので、ご希望の方は文化財課までご連絡ください。(文化財課 荒川)

「蘇づくり」 古代の味に したつづみ ～文化財課～

1月23日(土)のボランティア研修会で「蘇(そ)作り」を行ないました。材料は牛乳だけなのですが、できあがった「蘇」は甘くてとても上品な風味。参加されたボランティアさんからは、「酸っぱい味がするのかと思っていたので意外。」「手間はかかるけれど簡単にできる。」「いろいろアレンジして家でも作ってみたい。」などの感想が寄せられました。



文化財課は、この「蘇作り」で **3月28日(日)のボランティアフェスティバルに参加**する予定です。なお、ボランティアフェスティバル前々日の3月26日(金)にも事前準備で「蘇作り」に挑戦できる機会があります。1月の研修会には残念ながら参加できなかったというボランティアさんも、もちろんご参加いただけます。[「蘇作り」について興味のある方は、遠慮なく文化財課までお問合せください。](#)(文化財課 荒川)

募集しま〜す!

1 ボランティア募集説明会のご案内 事前に担当施設にご連絡ください。

日時	事業名	内容	会場(担当施設)
2/21(日) 10:00~12:00 (~14:00)	ボランティア説明会 及び 交流会	これからボランティアとして活動を希望されている方に対する説明会です。事例報告を行いますので、既に登録されている方もできるだけ御出席ください。 なお、終了後ボランティアの皆様と軽食付の交流会を予定(~14:00)しています(アルコールはなし)。	郷土資料館

2 事業のご案内 各事業での指導等に腕を振るってください! 事前に担当施設にご連絡ください。

日時	事業	内容	会場(担当施設)
2/9(火)・10(水) 9:30~12:00	「土器・ハニワの試作」	導入を検討している新しいタイプの粘土を使っての土器・ハニワの製作	文化財課
2/13(土)・14(日) 13:00~15:00	教室事業 広島発祥! パウムクーヘン作り	パウムクーヘン作りの指導	郷土資料館
2/19(金) 10:00~12:00	大人教室 とうふ作りにチャレンジ	とうふ作りの指導	郷土資料館
2/27(土)・28(日) 13:00~15:00	教室事業 折り染めのひな人形作り	和紙を使ったひな人形作りの指導	郷土資料館
3/6(土) 13:00~15:00	教室事業 わらぞうり作り	わらを編むぞうり作りの指導補助	郷土資料館

広島城	担当/本田・玉置	TEL 082 - 221 - 7512 FAX 082 - 221 - 7519 メールアドレス 本田 honda@rijo-castle.jp 玉置 tamaki@rijo-castle.jp ホームページ http://www.rijo-castle.jp
郷土資料館	担当/大室・山縣・前野	TEL 082 - 253 - 6771 FAX 082 - 253 - 6772 メールアドレス kyodo@hiroins-net.ne.jp ホームページ http://www.hiroins-net.ne.jp/kyodo/
文化財課	担当/田原・荒川	TEL 082 - 568 - 6511 FAX 082 - 568 - 6513 メールアドレス 田原 tahara@mogurin.or.jp ホームページ http://www.mogurin.or.jp